

ブログではお伝えしきれなかった Microsoft Access開発者だった私が FileMaker プラットフォーム に移行した 7つの理由 + α



株式会社ライジングサン・システムコンサルティング
岩佐 和紀

Workplace Innovation Platform
イノベーションを思いのままに



FileMaker カンファレンス 2019
NOVEMBER 6・7・8



- 株式会社ライジングサン・システムコンサルティング 代表取締役
- 長野県長野市在住（2009年に横浜から育児iターン）
- 1992年Fujitsu製メインフレームのCOBOLからプログラマとしてのキャリアをスタート
- dBasell、VisualBasic、Delphi、Java、Microsoft Access、SQLServer、Oracle等、業務システム開発で用いられる一般的な開発 プラットフォーム で開発
- FileMakerのバージョン11（2010年頃）から、本格的にFileMaker プラットフォーム での開発をスタート

事業内容

- FileMaker プラットフォーム を主軸とした
システム開発内製支援
- VB/Access/JAVA/LAMP等の開発者に対する
FileMaker プラットフォーム スキル移行支援
- プロトタイプソフトウェア（動く要件定義書）の作成

弊社オフィシャルブログで
FileMaker プラットフォーム を用いた
カスタム App 開発テクニックを公開中

2015年から

FileMakerカンファレンスで

毎年お話をさせていただいています…

2015年

- ・ FileMakerソリューションのアジャイル開発の実践事例

2016年

- ・ 内製化とアウトソーシングのハイブリットで小さくはじめて大きく育てる超高速開発を実現
- ・ 高度なデータ分析を実現するインタラクティブなグラフの実装法

2017年

- ・ 内製したカスタム Appで年間1,100時間・330万円のコスト削減を実現。
さらにアウトソーシングとのハイブリッドでより大規模なソリューションへ

2018年

- ・ 年間8TBのメティアデータ管理をDropboxとFileMakerの連携より
解決した事例のご紹介

FileMakerソリューションの アジャイル開発の実践事例



株式会社ライジングサン・システムコンサルティング
岩佐 和紀

アジェンダ

- アジャイル開発とは？
- ICONIXプロセス / スクラムとは？
- FileMakerソリューションのアジャイル開発の実践事例
- 質疑応答

アジャイル開発手法とは？

- Agileは形容詞
- 敏しょうな、素早い、機敏な、身のこなしの軽い、しなやかな、機動的な、鋭敏な… e.t.c.
- アジャイル開発とは価値観やスタイルを表した総称
- アジャイル開発という「定義された」開発手法が存在するわけではない。
- 代表的な手法に「スクラム」「エクストリーム・プログラミング」「リーンソフトウェア開発」「KANBAN」等がある。

プロジェクト実践事例の概要

プロジェクト概要	某大手サービス業のコールセンターの立ち上げに伴う顧客管理システム（CRM）の開発・導入支援。
目的	問い合わせのあった見込客へ効率的にアプローチして確実にクロージングへ繋げたい。（成約率を上げたい）
ポイント 1	社内にコールセンターの立ち上げ経験者はいない。
ポイント 2	そもそもコールセンターを立ち上げてうまくいくかどうかかわからない。
ポイント 3	すでに一度CRMの導入に失敗している・・・

こういったプロジェクト運営の結果

契約期間満了の3週間前には

ほぼ全機能の開発を完了

プログラマの残業は 3ヶ月でゼロ時間

内製化とアウトソーシングのハイブリットで 小さくはじめて大きく育てる 超高速開発を実現

株式会社ライジングサン・システムコンサルティング
岩佐 和紀



FileMaker カンファレンス 2016
NOVEMBER 09・10・11 TOKYO



カスタム App を作成し、未来をデザインしよう

#fmconfjp

アウトソーシングと

内製化の

ハイブリッドとは？

アウトソーシングと内製の

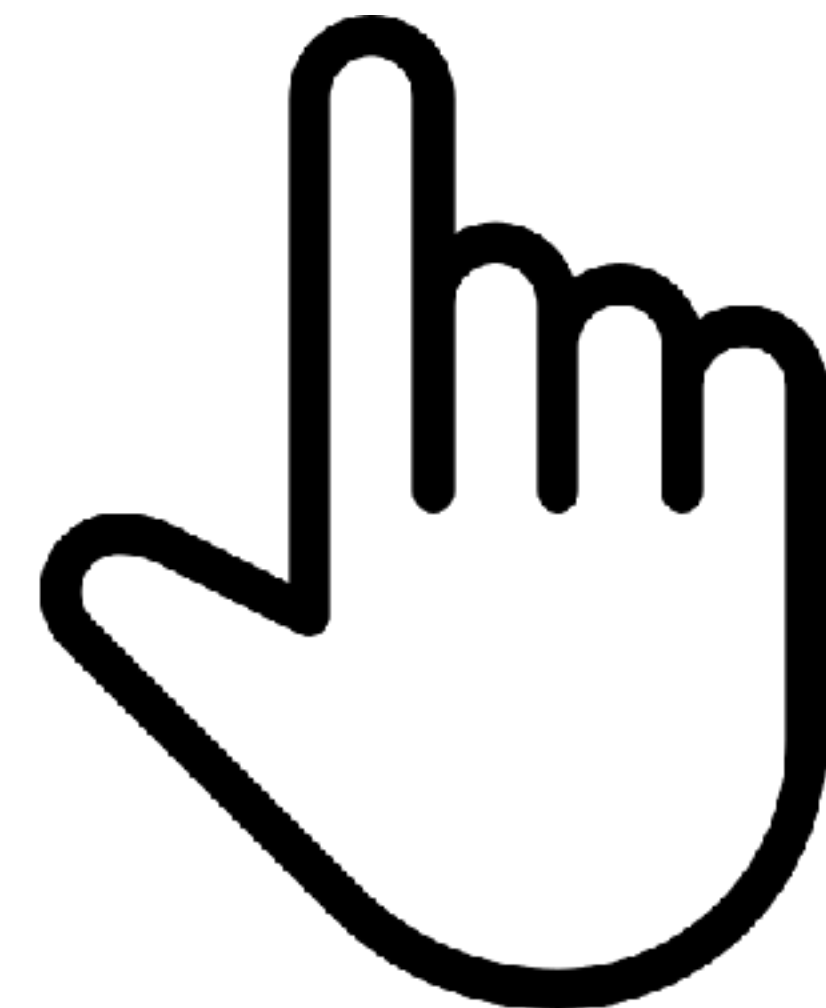
双方の弱点を強化しつつ

双方の強みをより伸ばす



内製化とアウトソーシングのハイブリッド開発

検索



高度なデータ分析を実現する インタラクティブなグラフの実装法

株式会社ライジングサン・システムコンサルティング

岩佐 和紀



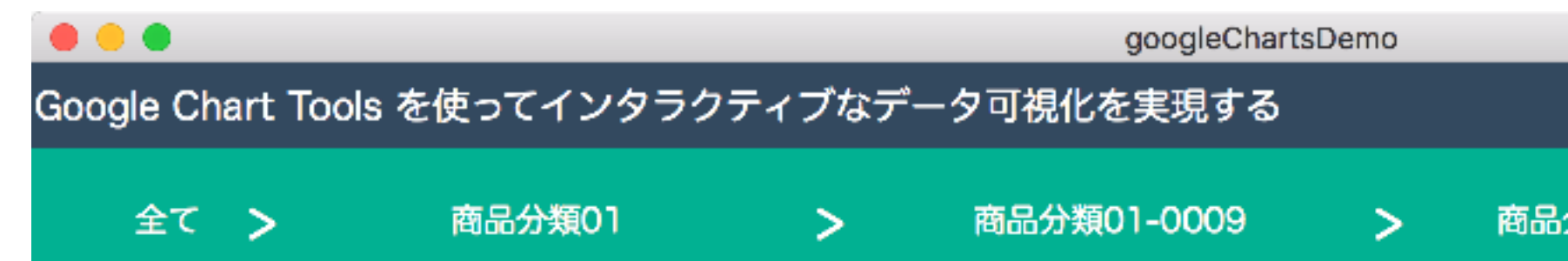
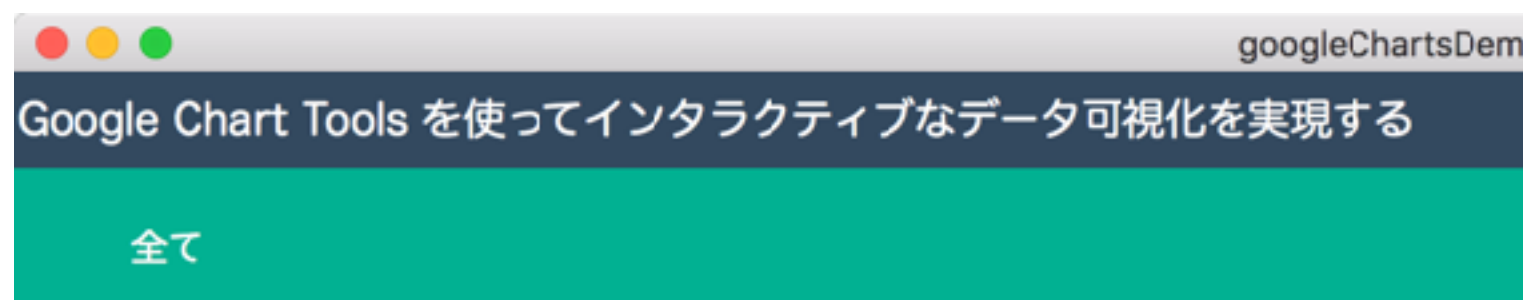
FileMaker カンファレンス 2016
NOVEMBER 09・10・11 TOKYO



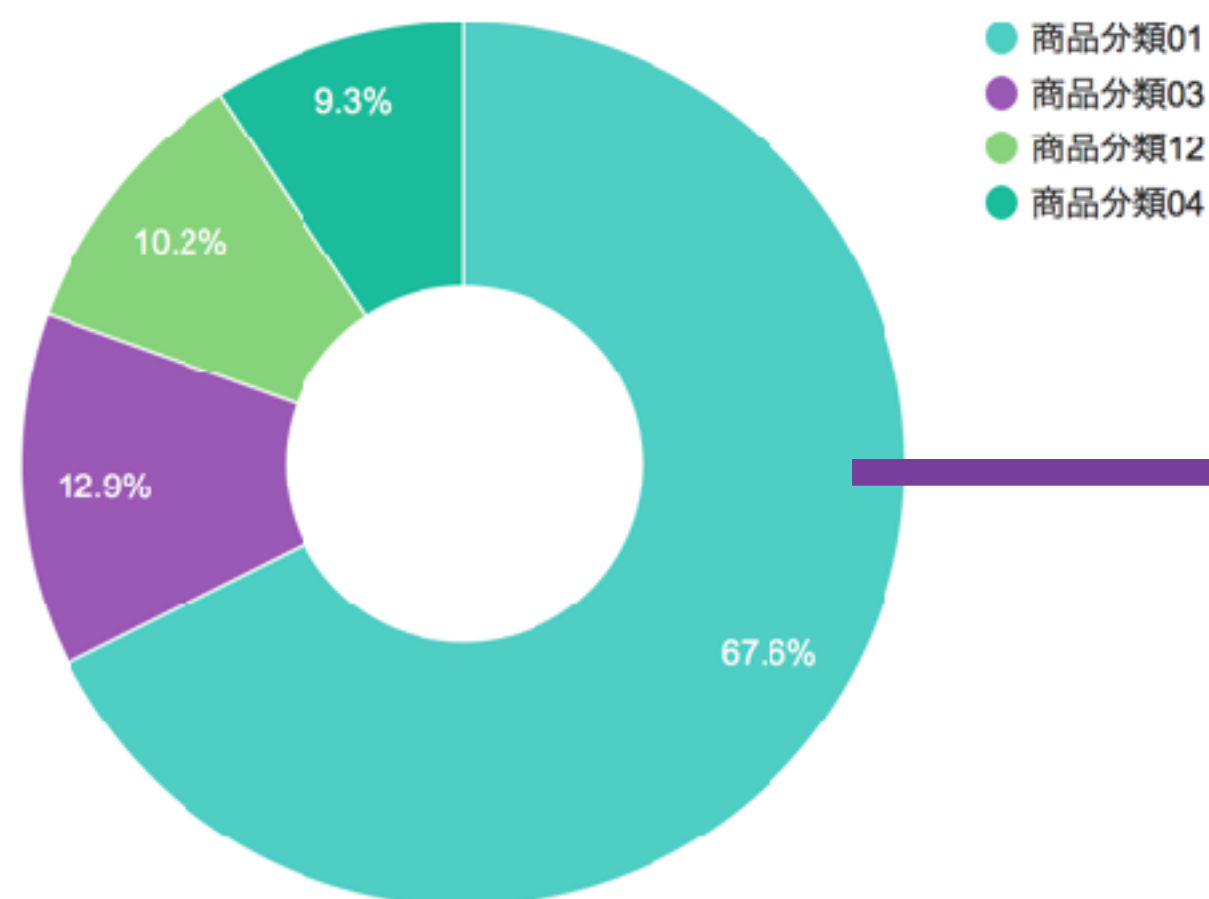
カスタム App を作成し、未来をデザインしよう

#fmconfjp

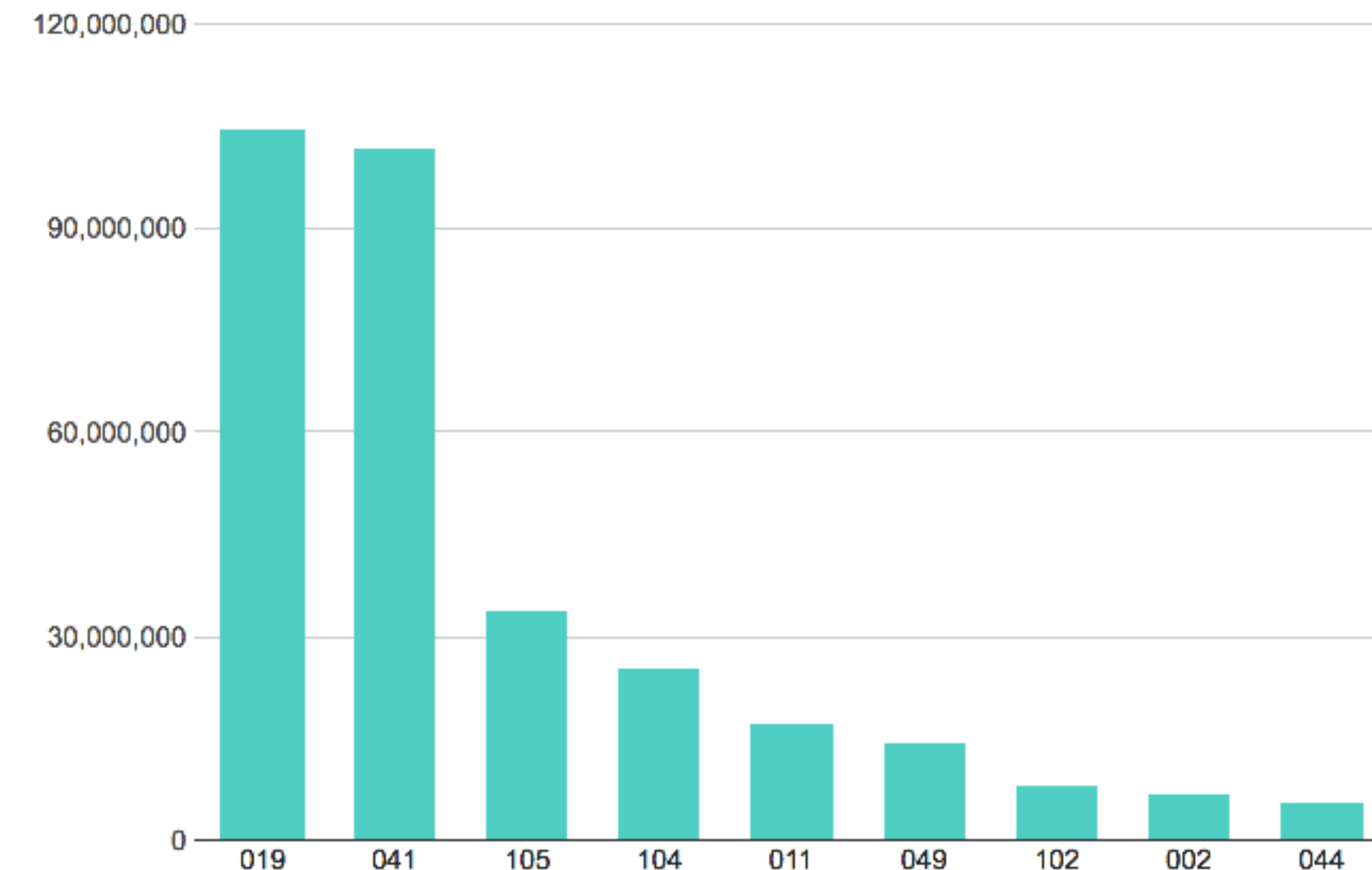
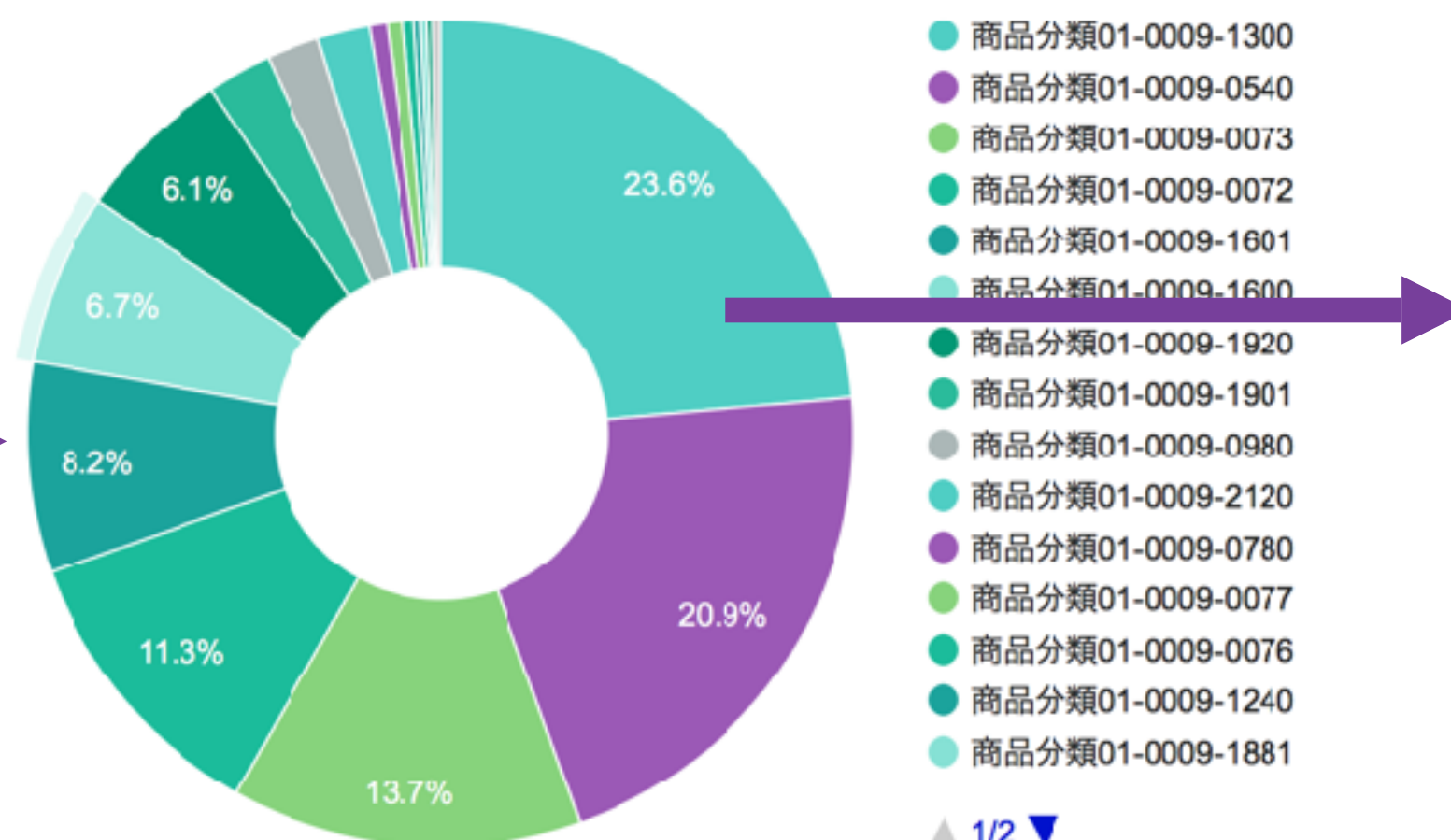
ドリルダウン



商品分類別売上構成比



商品分類別売上構成比



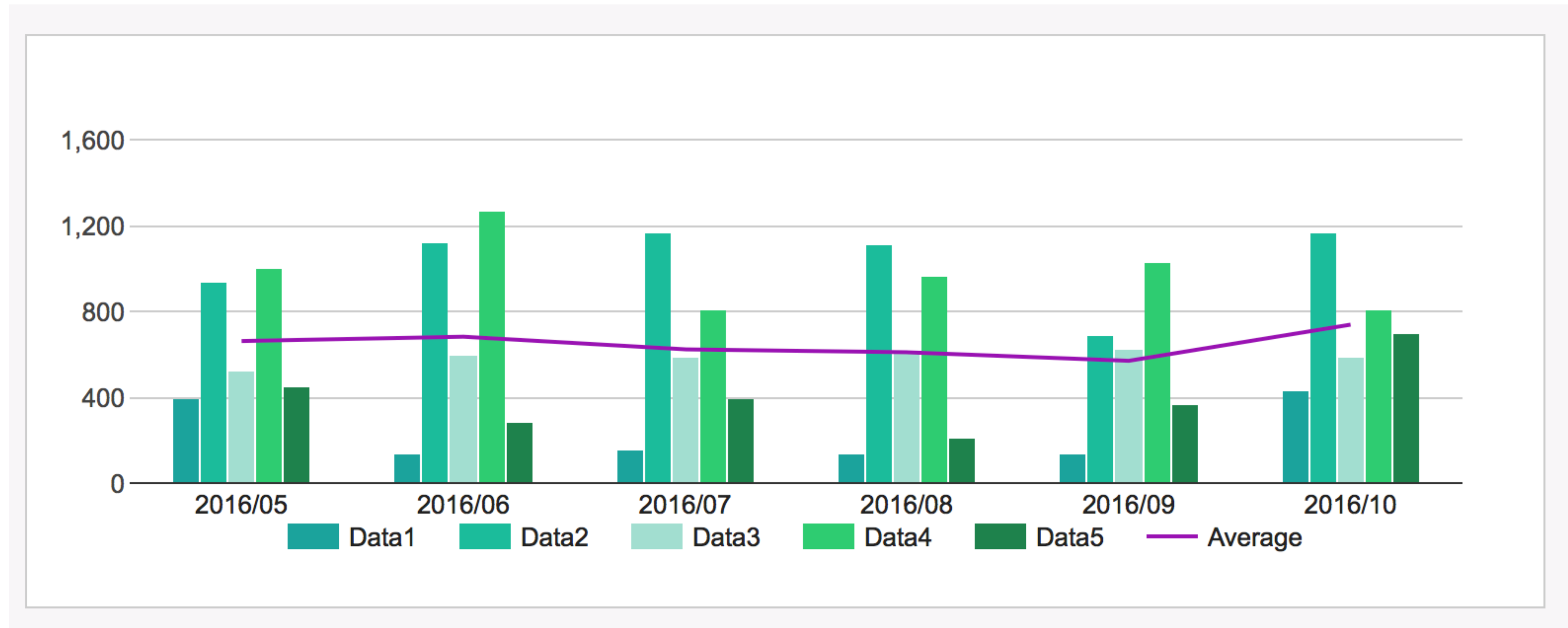
FileMaker カンファレンス 2016
NOVEMBER 09・10・11 TOKYO



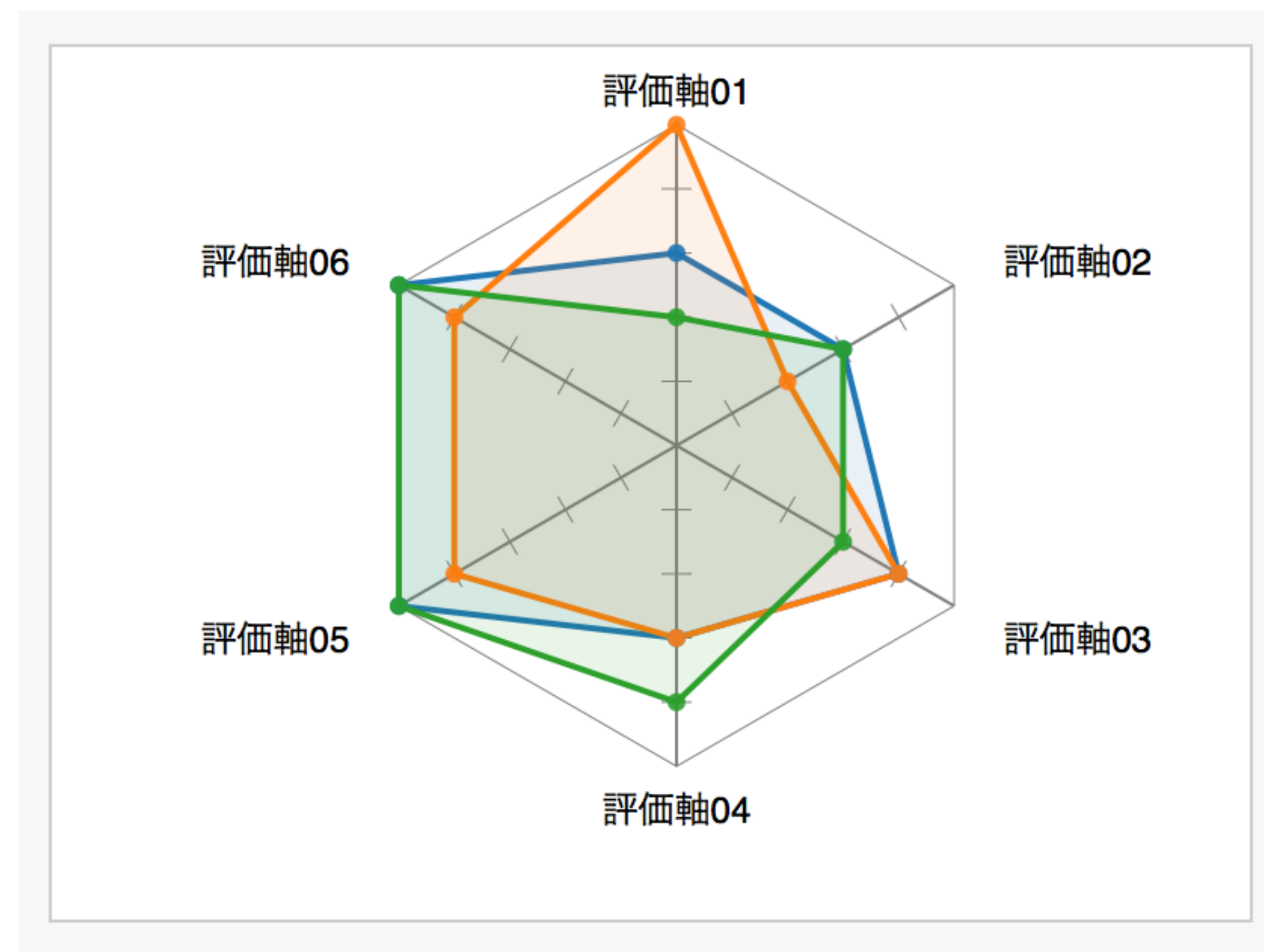
カスタム App を作成し、未来をデザインしよう

#fmconfjp

コンビネーションチャート



レーダーチャート



内製したカスタム Appで
年間1,100時間・330万円のコスト削減を実現
さらにアウトソーシングとのハイブリッドで
より大規模なソリューションへ

檜山工業株式会社
生産本部製造部オーバーホールG 課長代理
上原 正道

株式会社ライジングサン・システムコンサルティング
代表取締役 岩佐 和紀



FileMaker カンファレンス 2017
OCTOBER 23・24・25

 #fmconfjp

真空機器生産台数推移

過去4年で

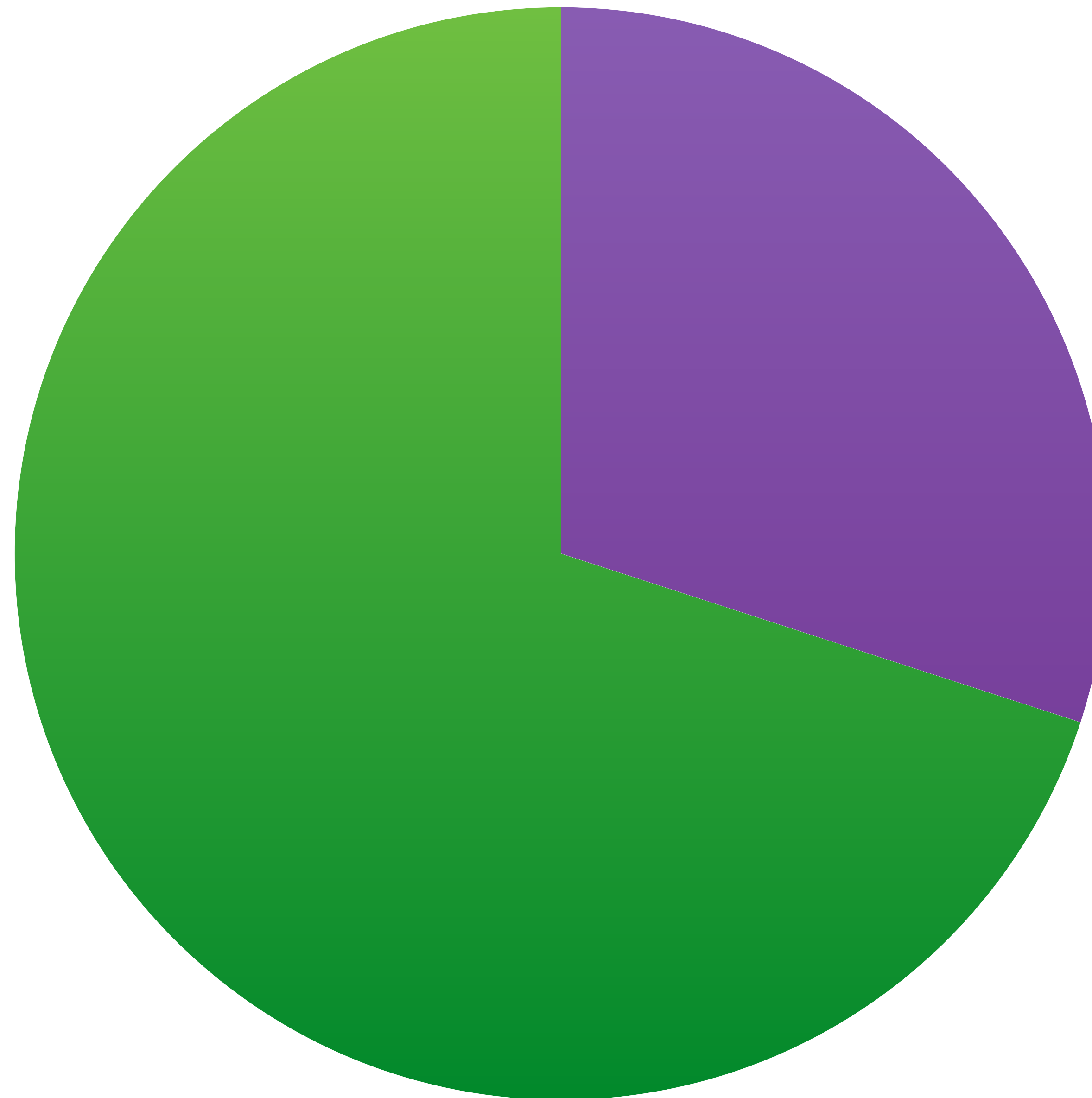
生産量が4倍以上に増加！







未展開の機種
3,000時間以上
1,000万円以上



展開済みの機種
1,100時間/330万円



FileMaker カンファレンス 2017
OCTOBER 23・24・25

 #fmconfjp

年間8TBのメディアデータ管理を DropboxとFileMakerの連携より 解決した事例のご紹介



株式会社ライジングサン・システムコンサルティング
岩佐 和紀

学ぶことは、創造のはじまり
イノベーションは、あなたから



FileMaker カンファレンス 2018
NOVEMBER 7・8・9

 #fmconfjp

FileMaker プラットフォーム を主軸とした システム開発内製支援

プロトタイプソフトウェア（動く要件定義書）の作成

MS-Access /.net Framework /JAVA / LAMP等の
開発者を対象としたFileMaker プラットフォーム への
スキル移行支援

学ぶことは、創造のはじまり
イノベーションは、あなたから



FileMaker カンファレンス 2018
NOVEMBER 7・8・9

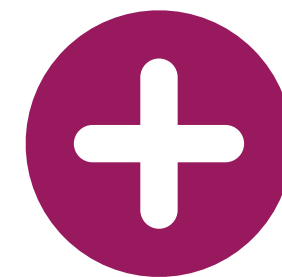
 #fmconfjp

カンファレンス最終日

L-7 美味しいお弁当付きのセッションで

最新のFileMaker + Dropbox

連携事例をお話します



ブログではお伝えしきれなかった Microsoft Access開発者だった私が FileMaker プラットフォーム に移行した 7つの理由 + α

きっかけ



6月20日(木) 11:21



株式会社ライジングサン・システムコンサルティング
岩佐様

いつもお世話になっております。
ご無沙汰しております。

早速ですが、岩佐様にお願いがありメールさせていただきました。
すでにご存知の通り、今年も11月にFileMaker Conference 2019の開催を予定しております。
そこで、岩佐様に1セッションにご登壇いただくことをご検討していただけないでしょうか？

以前からもそうだと思いますが、Access開発者（特に医療系）より何故FileMakerの方が良いのか、Accessと比較して何がメリットなのか
と質問を受ける事が多いというのが現状です。
そのような方向けに、実際に意思決定をした体験談を是非お話していただけないかと考えております。

2016年に岩佐様が記載しました「Access開発者だった私がFileMakerに移行した7つの理由」

<https://risingsun-system.biz/7-reasons-access-filemaker-migration/>

をととても興味深く読ませていただきました。

私自身はソフトハウス、Sire、そしてメーカーという中で開発を行なっており、（最初はメインフレーム+COBOL、その後はAccess, VB, ASP, Java）

岩佐様のこの記事は、自身でも経験した「あるある」な話でした。

お客様で病院内にて開発をされている多くの方は、先生方は「FileMaker」、自身は「AccessやVB」での開発を望んでおり、
同様の問題を抱えていらっしゃるようです。

お忙しい事は重々承知しておりますが、何卒ご検討いただけないでしょうか？

以上ですが、よろしくお願い致します。

Access開発者（特に医療系）より何故FileMakerの方が良いのか、Accessと比較して何がメリットなのかと質問を受ける事が多いというのが現状です。そのような方向けに、実際に意思決定をした体験談を是非お話していただけないかと考えております。

2016年に岩佐様が記載しました「Access開発者だった私がFileMakerに移行した7つの理由」をととても興味深く読ませていただきました。

（中略）

お客様で病院内にて開発をされている多くの方は、先生方は「FileMaker」、自身は「AccessやVB」での開発を望んでおり、同様の問題を抱えていらっしゃるようです。

2019-11-06 までの すべて日間の人気記事 (要約)



こんにちは、岩井

[7日間](#) | [30日](#) | [四半期](#) | [年](#) | [全期間](#)

すべての期間

タイトル		表示数
+ Access開発者だった私がFileMakerに移行した7つの理由		75,778
+ ホームページ / アーカイブ		28,305
FileMakerで大規模システムを開発する時に私達が実践している7つのポイント		23,646
ホーム		20,804
なぜアジャイル開発手法はウォーターフォール手法と比較して3倍の成功率なのか		19,652
FileMakerで本格的な開発を始めるための8つのステップ		16,104
社内システム開発の内製化で懸念すべき5つのデメリット		16,043
システム開発内製化の先進企業から学ぶ3つの教訓		13,543
アジャイル開発でもドキュメントが重要と考える4つの理由		13,032
システム開発の内製化にFileMakerプラットフォームを推奨する7つの理由		9,663
FileMakerでドラッグ&ドロップ操作が可能なカレンダーソリューションを実装する方法		9,204
FileMakerプラットフォームの導入コストはどれぐらい？		8,817

ブログ記事を読み返してみよう…

とんでもないことに気がついた…

1. コーディング量が圧倒的に少ない
2. 日本語でプログラミングできる
3. サーバ運用がラク
4. クライアントへの展開がラク
5. iOSへの対応がラク（ワンソース・マルチデバイス）
6. Webサービスとの連携が容易
7. 後ほどのお楽しみ…

FileMaker と MS-Access

どっちがいいですか？

最初に結論を…

良い・悪いは
状況によって異なる…

開発対象のソフトウェアの 難易度や量的規模の違い

定量的規模感

共有する人数

データの件数

応答性能

予算…

定性的規模感

開発難易度（モバイルデバイス・Web・他システム連携）

ミッションクリティカル度（お弁当の発注 or 人命に関わる…）

操作性、見た目的な美しさ、親しみやすさ

開発手法（内製 or アウトソーシング or ハイブリッド）

そうは言っても...

弊社のお客様は100%

MS-Accessから乗り換えて

「良かった！」という結果

実際に MS-Access から
FileMaker プラットフォーム へ
乗り換えられたお客様の事例1

FileMakerカンファレンス2016で

お話した

内製化とアウトソーシングの

ハイブリッド型プロジェクト

MS-Access純正（mdb）で
部分最適された、古いシステムが
たくさんあった

- その多くは**10年以上前**に開発されたシステム..

実業務とシステムの**乖離**が非常に大きかった

業務を効率化するはずのシステムが
足かせの原因に...

新システム導入の プロジェクトが発足

求める機能は、MS-Access単体では

とても実現できないレベル

しかし、パッケージシステム導入も

フルスクラッチ開発も

共に予算オーバー...

FileMaker

iOS ビジネスセミナー

に出席

これなら自分たちできそうだ！

1年ほど、自分達で試行錯誤し

いくつかの小規模な

カスタム App をリリースする

でも実際に作りたいのは
もっと高機能・高性能な
ソフトウェア...

しかし、高度な機能を実装した
ソフトウェアの開発を
100%アウトソーシングする
だけの予算は無い…

せっかく 1 年間、試行錯誤して
ある程度は作れるようになったので
フルアウトソーシングではなく
一緒に作りながら、開発をサポートし
てくれるところって無いかな…

弊社にお声がけをいただき
内製化とアウトソーシングの
ハイブリッドで

本格的にFileMake プラットフォーム
での開発をスタート

まず最初にMS-Accessでやってた
物流業務の一部や購買業務の一部を
FileMaker プラットフォーム へ...

導入したシステムの内部構造を
紐解きながら社内開発者の
育成トレーニング

+

少しずつ高度な機能を
ハイブリッド開発で拡張

小さく始めて大きく育てる
アプローチ

FileMaker プラットフォーム の

潜在能力が確認できたところで

受発注業務等の**基幹業務**も

MS-Accessから

FileMaker プラットフォーム へ…

約5年で10ユーザから
100ユーザ以上が利用する
基幹システムに成長

最初はFileMakerのことを胡散臭く
思っていた偉い人達や情シスさんも
FileMaker プラットフォーム への
リプレースに極めて前向き

現在も鋭意 MS-Access から
FileMaker プラットフォーム への
リプレースが進行中

実際に MS-Access から
FileMakerプラットフォームへ
乗り換えられたお客様の事例2

社内システムの多くを
MS-Access + MS-SQLServer
で自社開発（内製）されていた
年商約300億の製造業の企業様

基幹系システムの刷新に伴って
一部の機能をタブレットデバイスで
も利用したい…

当初は C#.net + Surface を
ベースで開発していたが
予想以上に開発時間がかかるという
ことで、この路線を断念…

たまたま社内の開発者さんが

興味を持っていた

FileMaker Go + iPad の

組み合わせで作ってみた

そこそこ動くものが
できてしまった！

これはイケる！

でも、本当にこれが
正しい作り方なんだろうか…

将来的には100台以上のiPadで
運用することになるけど
本当に今の作り方や運用方法で
大丈夫なんだろうか…

弊社のお声がけを頂き
技術的なサポートを
させていただく

システムは無事にカットオーバー
年間で約600万円の
コスト削減を達成！

FileMaker プラットフォーム の

圧倒的な開発生産性の高さ

と運用の手軽さを知り

他の業務領域へも拡大予定

MS-Access + MS-SQLServer から
全てのシステムの移行が完了すれば
200クライアント以上の
利用が確実

開発は内製とアウトソーシングの
ハイブリッド

これぐらいの**規模感**、そして内製化
とアウトソーシングの**ハイブリッド**

を希望される企業さんでは

MS-Accessから FileMaker プラット

フォーム へ移行したときの

満足度が高い

MS-AccessからFileMaker プラット フォーム へ乗り換えて幸せに なったお客様の 3つの共通点

1. まずは自分たちで手を動かして開発から運用
まで持っていていった。

小さく始めて、大きく育てるアプローチを
採用している。

適切なタイミングで技術力の高いプロからのサ
ポートを受けている

なんとなく見えてくる

FileMaker プラットフォーム への

乗り換えアンチパターン...

- いつまで経っても作らない。

初回のリリースから、いきなり高性能な大規模システムを作ろうとする。

体系的なトレーニング、及び確かな技術をもつプロからのサポートを受けていない。

改めて、弊社ブログ記事より
FileMaker プラットフォーム の
アドバンテージを簡単に振り返る

1. コーディング量が圧倒的に少ない
2. 日本語でプログラミングできる
3. サーバ運用がラク
4. クライアントへの展開がラク
5. iOSへの対応がラク（ワンソース・マルチデバイス）
6. Webサービスとの連携が容易
7. データベースエンジンの性能は圧倒的にFileMakerが優れている（デモ）

1～6の項目につきましては
ぜひブログ記事を
お読みください...

**7.データベースエンジンの性能は
圧倒的にFileMakerが優れている**

【EC向けサービス事例】第140回 一元管理システム /受注処理の人員を4割削減

EC向けサービス事例

2017/09/22 日本ネット経済新聞 連載記事



B! ブックマーク

f シェア

ツイート



家電や生活雑貨をネット販売する

は15年、一元管理システム「」を導入した。システムを切り替えたことにより、受注処理にかかる人員を約4割削減できたという。商品登録や在庫管理の機能が向上したことで、商品点数を拡大しやすい環境も整った。

以前導入していた受注管理システムは、

ファイルメーカーをベースにしたシステムだった。そのため商品データや受注データが増えるに従いシステムの動作が鈍くなり、作業に時間がかかっていた。

以前導入していた受注管理システムは、ファイルメーカーをベースにしたシステムだった。そのため商品データや受注データが増えるに従いシステムの動作が鈍くなり、作業に時間がかかっていた。

データが増えるに従い
システムの動作が鈍くなり...？

**FileMaker プラットフォーム で
開発されたソフトウェアは
データ量が増えると
動作が遅くなる...？**

デモ

FileMaker プラットフォーム へ

リプレースした結果

遅くて使えないという

苦情は一度もない

**FileMakerが遅いのではなく
開発者の技術力の問題...？**

同じ作り方をすれば、Oracleでも
SQLServerでも遅い

FileMakerはたしかにサクッと
動くものは作れるが
量的規模が大きくなるシステムの
構築では
プロの力を借りるほうが賢い

7つの理由以外の
FileMaker vs MS-Access の
ブログ記事

**お答えします。 Access→FileMaker
の乗り換えに関する5つの質問**

1. Windowsでも動きますか？

なぜMacで開発しているのですか？

これまで習得してきた技術は無駄にならないですか？

バックエンドのDBは必要ですか？ FileMakerServerってなんですか？

結局FileMakerってどのレベルのシステムまでカバーできるんですか？

こういった質問に
お答えしています

私が考える...

多分こういうニーズだと
あまり移行するメリットとは
無い...かな？

1. 同時接続は5クライアント以下
2. スマホ・タブレットで動く必要はない。
3. ブラウザとかで動かす必要はない。
4. Windowsマシンでスタンドアロンで動けばそれでいい。データ共有は共有フォルダやUSBメモリでのシェアで十分。
もしそういった運用でDBが壊れたり、情報漏えいしても構わない。
5. 他システム連携は必要ない。もしくは手作業でCSV出力できれば十分。
6. とにかく今のAccessのシステムがそのまま、新しいPC/OSで動くことがなによりも重要。

費用対効果が合わない

費用対効果...？

最近よく聞くあの声...

FileMakerのライセンス費は高い

本当に高いですか...？

少なくとも弊社のお客様から
「高い」という声は聞かない

確かに、「以前のバージョンと比較
したら」高くなりましたね...

ただし、その差分を補って
あまりあるほどのレベルアップを
FileMakerは果たしている

むしろ、進化したFileMakerがもつ

素晴らしい潜在能力を

どのようにビジネスの課題解決に

活かせるか...っという視点で

考えたほうが良いのでは？

何と比較するかで、高い・安いは
全く答えが異なる

salesforce.comから

FileMaker プラットフォームへ

移行したお客様は

ライセンス費だけで

年間約200万円の削減に成功！

しかも、salesforce.comでは
費用対効果の都合で実現でできな
かったことが

FileMaker プラットフォーム で

さくっと実現できた

FileMakerってなんて安いんだ！

ソフトウェアの費用対効果は
ライセンス費だけで
判断できるものではない

当然

FileMaker プラットフォーム を選択

するリスク・デメリットもある...

私が考える

MS-Access vs FileMaker プラット

フォームで、たった1つだけ

FileMakerが劣るところ...

プロフェッショナル開発者の絶対数が
MS-Accessと比較すると
圧倒的に少ない... (涙)

日本では主流の.netやJavaで開発している人たちは、少なくとも何度かはMS-Accessに触ったことがある

バックエンドDBに簡単に接続でき
て、SQLビルダーで簡単に
SQLを記述できる

日常的なデータの確認や、テスト
データの仕込み、障害時のデータ
パッチ等にも日常的に使っている

いざプロに開発を頼もうと思ったとき
に、その絶対数が圧倒的に少ないこと
は、FileMaker プラットフォーム を選
択するにあたって大きなリスク

まとめ

FileMakerとAccess

どっちがいいですか？

良い・悪いは
状況によって異なる...

ただし、弊社のお客様は100%

Accessから乗り換えて

「良かった！」という結果

**MS-AccessからFileMaker プラット
フォーム へ乗り換えて幸せに
なったお客様の3つの共通点**

1. まずは自分たちで手を動かして開発から運用
まで持っていていった。

小さく始めて、大きく育てるアプローチを
採用している。

適切なタイミングで技術力の高いプロからのサ
ポートを受けている

私が考える...

多分こういうニーズだと
あまり移行するメリットとは
無い...かな？

1. 同時接続は5クライアント以下
2. スマホ・タブレットで動く必要はない。
3. ブラウザとかで動かす必要はない。
4. Windowsマシンでスタンドアロンで動けばそれでいい。データ共有は共有フォルダやUSBメモリでのシェアで十分。
もしそういった運用でDBが壊れたり、情報漏えいしても構わない。
5. 他システム連携は必要ない。もしくは手作業でCSV出力できれば十分。
6. とにかく今のAccessのシステムがそのまま、新しいPC/OSで動くことがなによりも重要。

私が考える

MS-Access vs FileMaker プラット

フォームで、たった1つだけ

FileMaker が劣るところ...

プロフェッショナル開発者の絶対数が
MS-Accessと比較すると
圧倒的に少ない... (涙)

いざプロに開発を頼もうと思ったときに、その絶対数が圧倒的に少ないことは、FileMaker プラットフォーム を選択するにあたって大きなリスク

Q&A

ありがとうございました